

長野市ケア会議 報告

1 地域包括支援センター篠ノ井総合病院個別ケア会議から抽出された地域課題
「身寄りのない高齢者の施設入所時等の身元保証に関する問題について」
(令和2年7月31日議題提出)

(1) 経過報告

- ・ 身寄りのない高齢者等の身元保証や看取りに関する公的な相談窓口（成年後見～死後事務処理までの対応ができる仕組み）を設置し、高齢者の尊厳を確保しつつ、地域での自立した生活をできるだけ継続できるよう支援するため、令和3年度より「『おひとりさま』あんしんサポート事業」の開始に向けて、予算措置をした。【概要別紙】
- ・ この事業について、第九次長野市高齢者福祉計画・第八期長野市介護保険事業計画（案）に組み込んだ。

2 地域包括支援センター星のさとネットワーク会議から提起された地域課題
「地域包括ケアシステムの中での看取りの在り方と人生最後の選択を支援するには」 (令和2年11月19日議題提出)

(1) 経過報告

- ・ 市は、市民及び介護関係者への人生会議（ACP）の啓発をパンフレットの配布と出前講座により行っている。
- ・ 長野市在宅医療・介護連携推進会議（令和2年11月26日開催）にて、長野市ケア会議でいただいた意見を報告した。「啓発を進めるほど、人生会議の結果の保管などより具体的な課題が表出する」との意見が出された。これについて、地域からの意見を踏まえ、引き続き検討する。
- ・ また「ACPが普及しても、本人の意思が医療従事者に伝わらなければ有効ではない」との意見もあった。医療従事者が、本人の意思に寄り添った支援を具体的に実現していただけるような仕組み、体制づくりをお願いしたい。